

2025年7月23日号

じんけんを「他人ごと」から「自分ごと」へ

じんけんやんだふる

NO
5号



じんけんやんだふる

OYAOYA 通信

学びのホームグラウンド じんけん楽習塾



7月23日のじんけん楽習塾は『立ちどまり考える時間～時事ネタから私と社会を振り返る～』がテーマです。講師は大谷真砂子さん(じんけん楽習塾・NPO法人シスターフッド大阪)です。

楽習塾初年度からの参加者。不登校の子ども、養護施設の子どもの関わりがながい。CAPプロジェクトやお。

みんなのふりかえり5回目7/9

ジェーン・エリオットの 「差別体験・ワークショップ」 から学ぶ



富岡美知子さん

(異文化コミュニケーション・トレーナー)

今回のじんけん楽習塾では、アメリカの人種差別問題とその歴史的背景に加え、今の政治情勢についても詳しく話していただきました。人種差別を体験的に学ぶジェーン・エリオットさんの「青い目茶色い目」の授業を視聴し、その印象や影響についてグループで話し合い、シェアしました。また、多様性・包摂・公平性(DEI)政策や、参加体験型学習の効果についても触れられた上で、ジェーン・エリオットの「(アメリカでは)白人が人種差別をつくりだしました。つくったものは何であれ壊せますよ」

を引用され、人種差別解消は可能であることを伝えられました。

<参加者の感想&ふりかえり>

●被差別体験をすることで、差別は嫌だ、人を傷つけないという思いを持てるというのは、本当にそのとおりだと思うものの、中途半端なことをすると、仕返ししたくなる思いがつののではないかと気になりました。配慮事項や事前学習など、知りたいことがたくさんあります。しっかり学び、自信を持って取り組めたらいいなと思いました。本日はありがとうございました。

●とてもいいお話で、あつという間の90分+αでしたww「青い目、茶色い目」の実践は、NHKで放映された当時から知っていましたが、数年前にまた取り上げられるようになったのは、アメリカの政権が変わって多様性が尊重されるからだということ、そして今またDEIが否定されていることと、日本で叫ばれている「外国人優遇」反対。「日本人ファースト」などの、悪意に満ちた選挙街宣、それを支持する人たちと、つながっているとあらためて確認しました。差別体験授業は、自分の中の差別が晒されるからこわいし、気分の悪いものだと思います。でも、そうやって自分の中にある差別や偏見を見ていかないと何も始まらないと思いました。最初と最後のワークの工夫や、参加者の心身に配慮したお声かけや進行で、たいへん心地よく参加させていただきました。ありがとうございました。

●人の痛みがわかるには自分も同じ痛みを経験すればわかる。参加型で深く学ぶことの意義は伝わりました。でも、怖さも・・実際あります。マイノリティの立場にたって考えることができる、そんなおとなに成長してほしいし、おとなができることたくさん考えていこうと思います。



●「青い目 茶色の目」は初めてではありませんが、こどもたちの表情を見るとやはり衝撃的です。権威ある人の言動の影響力は大きくて、差別された側の怒りは簡単に収まらないでしょう。アメリカの2040問題はすでに世界にも影響していると感じます。それでも、おとなのワークではガラッと雰囲気が変わる瞬間がある、というエリオット理論は希望です。

●権力のある人の発言で、差別は始まるという事。子供の頃の学習は大事なんだと思いました。

●権力のある人が勝手に人の優劣を決めることで差別が作り出されるが、「作ったものは何であれ壊せますよ (J. エリオット)」。大人から子どもへ、差別が文化に根付いてしまわないように、差別体験授業や研修をすべての世代が経験してほしいと思いました。授業を受けた子どもたちが、ふりかえり強い一体感を持ったこと、2日間の授業での経験が、何年経っても、しっかり心に刻まれていることや、大人の研修を受けて、180度考えと行動が変わった人がいたということを知って尚更です。私は小学校時代に八尾で同和教育を受けた世代です。八尾以外の学校に進んだときの周りの人たちの感覚に

ショックを受け たことを思い出しました。最近の世の中の流れを思うと、危機感が拭えません。

●小学生か中学生のころに視聴したことがあり、それまで特に問題なく過ごしていた子どもたちが先生の言葉で変わっていく様子に衝撃を受けたことを覚えています。今回改めて感じたのは、体験のその後が大事だということです。差別がどれだけ根拠のない理不尽なものなのか、それによってどれだけ傷つくかを、自分自身が経験したことで、大切なことはその人自身をみることに実感できた子どもたちの表情が、一段と逞しくなったように感じました。子どもたちからすると、大人である自分自身の言葉が子どもたちの意識を変えてしまう一言になってしまう可能性も含んでいることを頭において、これから子どもたちとかかわっていかうと思います。

★今回の OYAOYA 川柳★

今日もまた 自分のバイアス 気づいたよ
パワー持つ 人との違いが ヘイトの材料
(あこちゃん)

規制しろ！選挙に乗じて差別すな
(あこちゃん)

繰り返すそのヘイトって、誰の得？ (AKO)
それ差別？ その発言が 特権性 (AKO)
血筋だけ 取り柄がそれだけ かなしいね
(いい子)

権力の 暴走矛先に 市民たち (いい子)



連絡



毎回ふりかえり用紙をくばります。オンラインの場合はファイルを送ります。後でメールファックスでもいいので送ってください。お願いします。通信に反映させたいと思います。(公開だめなものはオープンにしません)

写真を撮影しますが、OYAOYA通信、八尾市人権協会のホームページなどで使用する場合があります。なるべく個人が特定しにくいものをごと考えていますが、困るという方は事務局に申しつけください。